

民生委員・児童委員を取り巻く現状と課題

民生委員・児童委員を取り巻く現状

<現状>

- なり手不足...定数10,324人、現員9,491人、欠員833人、充足率91.9%
(47都道府県中ワースト2) ※ H28.12.1現在
- 活動の周知不足による候補者の確保難...活動に対する理解不足による世間のネガティブイメージ(難しそう、大変そう)
- 業務の多様化による負担感増...経済情勢、雇用をめぐる環境の変容等による生活困窮や児童虐待の増加等新たな福祉課題の深刻化、大規模災害の発生時等の要援護者支援や消費者被害防止等において民生委員・児童委員に対する期待の高まり

<課題>

- 活動の効果的な周知
- 将来の候補者の発掘
- 負担軽減に資する支援

民生委員・児童委員に係る計画等の状況

- 東京都地域福祉支援計画
計画において、包括的な地域福祉の推進のための課題として「民生委員・児童委員の活動への支援」を設定
- 東京版活動強化方策(都民連策定)
平成28年11月、都民連が今後10年の民生委員・児童委員活動の羅針盤となる活動強化方策を策定

民生委員・児童委員の活動について、
課題の整理と今後の取組の検討が必要

民生委員・児童委員活動に関する検討委員会の設置

目的

平成31年度以降の一斉改選に向けて、民生委員・児童委員に係る課題や状況の変化に対応し、民生委員・児童委員活動の充実を図るため、必要な支援や環境整備について検討を行う。

概要

(1) 検討内容

- 民生委員・児童委員の活動環境の整備
 - ・区市町村からの支援、民児協組織の強化、協力員事業等
- 東京版活動強化方策の推進策
 - ・個別支援活動の向上、班体制の確立、民児協組織強化、児童委員活動の充実、協働による地域福祉活動
- 候補者発掘策
 - ・既存のルートにとらわれない選考方法 等
- 民生委員・児童委員活動の周知の仕組み
 - ・ターゲット層、PRの方法 等

※ 区市町村ごとの民生委員・児童委員の業務調査の結果を検討の参考とする。
調査内容: 法令等で定められているもの、委員等への就任、イベントへの参加、印刷物の配布等

(2) 検討委員会の委員構成

学識経験者3名 都民連6名 区市町村代表4名 都1名

(3) スケジュール

平成30年7月 中間報告→31年度予算要求に反映
平成31年3月 最終報告